若手も台頭 2020へ弾み

第3回日本パラスポーツ賞 推薦選手・団体決定

各競技団体の推薦選手・団体

■日本パラ陸上競技連盟
佐藤友祈（ＷＯＲＬＤ―ＡＣ）
井谷俊介（ネッツトヨタ東京）※
■日本障がい者バドミントン連盟
鈴木亜弥子（七十七銀行）
里見紗李奈（パシフィック）※
■日本ブラインドマラソン協会
道下美里（三井住友海上）
■日本パラサイクリング連盟
野口佳子（ウェルパーク）
■日本障がい者乗馬協会
中村公子（シュタール・ジーク）
■日本視覚障害者柔道連盟
広瀬順子（伊藤忠丸紅鉄鋼）
■日本身体障がい者水泳連盟
鈴木孝幸（ゴールドウイン）
宇津木美都（京都文教高）※
■全日本テコンドー協会
阿渡健太（日揮）
工藤俊介（ダイテックス）※
■日本トライアスロン連合
土田和歌子（八千代工業）
■日本車いすバスケットボール連盟
宮城ＭＡＸ
■日本ウィルチェアーラグビー連盟
世界選手権日本代表チーム
■日本車いすテニス協会
国枝慎吾（ユニクロ）
大谷桃子（スポーツクロマティ）※
■日本障害者スキー連盟
村岡桃佳（早大）
本堂杏実（日体大）※
■日本聴覚障害者陸上競技協会
湯上剛輝（トヨタ自動車）
■日本ろう者サッカー協会
女子日本代表チーム
■日本ろう者テニス協会
日本チーム
■日本知的障がい者陸上競技連盟
蒔田沙弥香（愛知陸上競技協会）
■日本知的障害者水泳連盟
東海林大（三菱商事）
■日本知的障がい者卓球連盟
古川佳奈美（博多卓球クラブ）
■日本ブラインドテニス連盟
酒井幸春（広島ラブオール）
沼田典浩（埼玉県立特別支援学校嬉保己一学園）※
■日本聴覚障がい者ラグビー連盟
日本代表チーム
■日本スポーツ吹矢協会
群馬県協会ふれあい赤城支部
内藤正友（愛知県協会西尾張あま福祉支部）※
■全国アダプテッドエアロビック協議会
竹内真利奈（ＡＢＭ）
■日本デフビーチバレーボール協会
瀬井達也（国際石油開発帝石）・今井勇太（大阪市大正区役所）組
■日本身体障害者アーチェリー連盟
大山晃司（警視庁）※
※は新人賞

過去最多48の国・地域が参加した平昌大会で、日本は前回のソチ大会を上回るメダル10個を獲得した。アルペンスキーの村岡桃佳（早大）が大回転（座位）金のほか、銀2、銅2と、冬季1大会の日本人選手で男女を通じて最多となる5個のメダルを手にした。37歳で出場した距離スキーの新田佳浩（日立ソリューションズ）は5大会ぶりとなる金メダルでベテランの存在感を示した。

スノーボードの成田緑夢（フリー）も金を含むメダル2個を手にし、大会後には競技転向を表明。陸上走り高跳びで東京パラリンピック金の1点を目指すことになった。

アジアパラ大会では車いすテニスや競泳陣が活躍。車いすテニス男子シングルス金の国枝慎吾（ユニクロ）は、同女子シングルス金メダルでベテランの存在感を示した。

競泳では19歳の東海林大（三菱商事）、15歳の宇津木美都（京都文教高）もアジアパラで金を獲得するなど若手の台頭が目立った。東海林は6月の国際大会100㍍バタフライでは世界新を出した。

このほか、車いすラグビー1の日本代表が世界選手権で初優勝、ボッチャも日本の男女共通チーム（脳性まひ）が世界選手権で銀メダルを獲得するなど、団体競技も国際大会で飛躍し、2020年に向けて弾みがつく1年となった。

＊　＊　＊

陸上

佐藤友祈（さとう・ともき）（29）ＷＯＲＬＤ―ＡＣ。静岡県出身。
◇関東パラ選手権400㍍、1500㍍（車いす）で世界新。

【新人賞】
井谷俊介（いたに・しゅんすけ）（23）ネッツトヨタ東京。三重県出身。
◇アジアパラ大会100㍍で金メダル。同種目予選でアジア新。

バドミントン

鈴木亜弥子（すずき・あやこ）（31）七十七銀行。埼玉県出身。
◇世界ランキング1位。

【新人賞】
里見紗李奈（さとみ・さりな）（20）パシフィック。千葉県出身。
◇アジアパラ大会シングルス銅メダル。

視覚障害者マラソン

道下美里（みちした・みさと）（41）三井住友海上。山口県出身。
◇昨年12月の防府読売マラソンで世界新。

自転車

野口佳子（のぐち・けいこ）（47）ウェルパーク。静岡県出身。
◇パラサイクリング・ロード世界選手権ロードレースで優勝、同タイムトライアルで2位。

馬術

中村公子（なかむら・ともこ）（56）シュタール・ジーク。神奈川県出身。
◇世界選手権、日本勢初の銅メダル獲得。

視覚障害者柔道

広瀬順子（ひろせ・じゅんこ）（28）伊藤忠丸紅鉄鋼。山口県出身。
◇国際視覚障害者スポーツ連盟（ＩＢＳＡ）公認のワールドカップで優勝。

身体障害者水泳

鈴木孝幸（すずき・たかゆき）（31）ゴールドウイン。静岡県出身。
◇アジアパラ大会で、1大会では日本人過去最多の金メダル5個を獲得。

【新人賞】
宇津木美都（うつき・みく）（15）京都文教高。京都府出身。
◇アジアパラ大会で100㍍平泳ぎ金メダル。

テコンドー

阿渡健太（あわたり・けんた）（32）日揮。神奈川県出身。
◇アジアパラ選手権で準優勝。

【新人賞】
工藤俊介（くどう・しゅんすけ）（25）ダイテックス。岐阜県出身。
◇全日本選手権パラの部男子＋61㌔優勝。

トライアスロン

土田和歌子（つちだ・わかこ）（44）八千代工業。東京都出身。
◇今年1月に車いすマラソンからの競技転向を発表、世界大会で複数の表彰台。

車いすバスケットボール

宮城ＭＡＸ　豊島英ら21人。
◇日本選手権10連覇を達成。

車いすラグビー

世界選手権日本代表チーム
岸光太郎ら14人。
◇世界選手権でアジアのチームとして初の優勝。

車いすテニス

国枝慎吾（くにえだ・しんご）（34）ユニクロ。千葉県出身。
◇アジアパラ大会のシングルスとダブルスで金メダル。

【新人賞】
大谷桃子（おおたに・ももこ）（23）スポーツクロマティ。栃木県出身。
◇アジアパラ大会シングルスで銅メダル。

スキー

村岡桃佳（むらおか・ももか）（21）早大。埼玉県出身。
◇平昌パラリンピックで、女子大回転の金メダルをはじめ、計5個（金1、銀2、銅2）のメダルを獲得。

【新人賞】
本堂杏実（ほんどう・あんみ）（21）日体大。埼玉県出身。
◇平昌パラリンピック女子回転で8位入賞。

聴覚障害者陸上

湯上剛輝（ゆがみ・まさてる）（26）トヨタ自動車。滋賀県出身。
◇健常の日本選手権の男子円盤投げで日本新記録をマークして優勝。

聴覚障害者サッカー

女子日本代表チーム　阿部菜摘ら21人。
◇アジアパラ大会女子1500㍍で金メダル。

知的障害者水泳

東海林大（とうかいりん・だい）（19）三菱商事。山形県出身。
◇世界パラリーズ英国大会男子100㍍バタフライで世界新記録を樹立して優勝。

知的障害者卓球

古川佳奈美（ふるかわ・かなみ）（21）博多卓球クラブ。福岡県出身。
◇パラ世界選手権女子シングルスで銅メダル。

聴覚障害者テニス

酒井幸春（さかい・ゆきはる）（64）広島ラブオール。山口県出身。
◇全国障害者スポーツ大会オープン競技ブレス台Ｂ1男子で優勝。

【新人賞】
沼田典浩（ぬまた・のりひろ）（36）埼玉県立特別支援学校嬉保己一学園。埼玉県出身。
◇同Ｂ3男子で優勝。

聴覚障害者ラグビー

日本代表チーム　大塚貴之ら13人。
◇アジアパラ大会で4位。

知的障害者水泳

東海林大（とうかいりん・だい）（19）三菱商事。山形県出身。
◇世界パラリーズ英国大会男子100㍍バタフライで世界新記録を樹立して優勝。

知的障害者卓球

古川佳奈美（ふるかわ・かなみ）（21）博多卓球クラブ。福岡県出身。
◇パラ世界選手権女子シングルスで銅メダル。

視覚障害者テニス

酒井幸春（さかい・ゆきはる）（64）広島ラブオール。山口県出身。
◇全国障害者スポーツ大会オープン競技ブレス台Ｂ1男子で優勝。

【新人賞】
沼田典浩（ぬまた・のりひろ）（36）埼玉県立特別支援学校嬉保己一学園。埼玉県出身。
◇同Ｂ3男子で優勝。

聴覚障害者ラグビー

日本代表チーム　親松直人ら10人。
◇世界デフテニスチーム選手権で、ともに過去最高の男子が銅メダル、女子が5位入賞。

聴覚障害者テニス

大谷桃子（おおたに・ももこ）（23）スポーツクロマティ。栃木県出身。
◇アジアパラ大会のシングルスとダブルスで金メダル。

【新人賞】
本堂杏実（ほんどう・あんみ）（21）日体大。埼玉県出身。
◇平昌パラリンピック女子回転で8位入賞。

聴覚障害者陸上

湯上剛輝（ゆがみ・まさてる）（26）トヨタ自動車。滋賀県出身。
◇健常の日本選手権の男子円盤投げで日本新記録をマークして優勝。

聴覚障害者サッカー

女子日本代表チーム　阿部菜摘ら21人。
◇アジアパラ大会女子1500㍍で金メダル。

知的障害者水泳

東海林大（とうかいりん・だい）（19）三菱商事。山形県出身。
◇世界パラリーズ英国大会男子100㍍バタフライで世界新記録を樹立して優勝。

知的障害者卓球

古川佳奈美（ふるかわ・かなみ）（21）博多卓球クラブ。福岡県出身。
◇パラ世界選手権女子シングルスで銅メダル。

視覚障害者テニス

酒井幸春（さかい・ゆきはる）（64）広島ラブオール。山口県出身。
◇全国障害者スポーツ大会オープン競技ブレス台Ｂ1男子で優勝。

【新人賞】
沼田典浩（ぬまた・のりひろ）（36）埼玉県立特別支援学校嬉保己一学園。埼玉県出身。
◇同Ｂ3男子で優勝。

聴覚障害者ラグビー

日本代表チーム　大塚貴之ら13人。
◇アジアパラ大会で4位。

スポーツ吹矢

群馬県協会ふれあい赤城支部　堀江賢二ら17人。
◇堀江は全国障がい者スポーツ吹矢大会座位6㍍の部で優勝。

【新人賞】
内藤正友（ないとう・まさとも）（36）愛知県協会西尾張あま福祉支部。愛知県出身。
◇同大会立位片まひ10㍍の部で優勝。

アダプテッドエアロビック

竹内真利奈（たけうち・まりな）（30）ＡＢＭ。神奈川県出身。
◇全国アダプテッドエアロビック大会フライト部門で8連覇。

聴覚障害者ビーチバレー

瀬井達也（せい・たつや）（36）・今井勇太（いまい・ゆうた）（26）組。瀬井は国際石油開発帝石、熊本県出身、今井は大阪市大正区役所、大阪府出身。
◇日本で開催された国際親善大会で優勝。

アーチェリー

【新人賞】
大山晃司（おおやま・こうじ）（27）警視庁。千葉県出身。
◇ワールドランキングトーナメント（ドバイ）で4位。
◇7人制世界大会で4位。

❶平昌パラリンピック・アルペンスキー女子大回転で金メダルを獲得し笑顔を見せる村岡桃佳㊤❷距離スキー男子10㌔クラシカルで金メダルの新田佳浩㊦❸車いすラグビー世界選手権で初優勝した日本代表

（左上から時計回りに）アジアパラ大会・陸上男子100㍍で金メダルの井谷俊介、車いすテニス男子シングルスで金メダルを獲得した国枝慎吾、競泳100㍍平泳ぎで優勝した宇津木美都、ジャパンパラ競技大会・競泳男子200㍍自由形で日本記録を更新した東海林大

◆日本パラスポーツ賞とは　健常者スポーツ界の最高賞「日本スポーツ賞」と同様に、日本のトップアスリートの中から優れた成績を残した選手、団体を表彰し、障害者スポーツへの理解を深め、普及、振興を図ることを目的に2016年に制定された。公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の登録団体、日本パラリンピック委員会の加盟団体から推薦された選手、団体などを対象に各賞を贈る。

◇日本パラスポーツ賞選考委員
大日方邦子（日本パラリンピアンズ協会副会長）河合純一（日本パラリンピアンズ協会会長）田中暢子（桐蔭横浜大教授）鳥原光憲（日本障がい者スポーツ協会会長）橋本聖子（参議院議員）藤田紀昭（日本福祉大教授）増田明美（スポーツジャーナリスト）山脇康（日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会委員長）＝以上敬称略、50音順
▷読売新聞社　山口寿一（グループ本社代表取締役社長）福士千恵子（東京本社取締役事業局長）